

美しい形に認定された 石狩の山

ピリカノカはアイヌ語で美しい形という意味である。国の文化庁はアイヌ文化に関連する史跡名勝天然記念物の名称をピリカノカと名付け、北海道内の山や岬など10ヶ所を指定している。黄金山^{こがねやま}はその名勝の一つだ。（アイヌ語ではピンネタイオルシペという）黄金山は美しく形が整った円錐形^{えんすい}で、黄金富士または浜益富士とも呼ばれている。

この黄金山の存在を知ったのは随分前だ。黄金山に毎年登っているアイヌのおじさんと夫が仲良くなり、一緒に登山に行くようになってからだ。あらためて調べてみると、標高約739mの山で、地上350mあたりから上になるとさまざまな岩石の地層が見える。頂上まで岩になるので登りも下りも足場が大変だったと夫が言う。しかし低山でありながら季節には高山植物が咲き、山頂からは360度見渡すことができる素晴らしい眺め。きっと黄金山には何度も登りたくなる、いろいろな魅力が詰まっているに違いない。

ある年、小学生だった娘も黄金山に登ったことがある。「山の小学校」に通っていたせいか、夫の手助けもあり、へこたれることなく楽しんで帰ってきた。その後10年以上経って四国の石鎚山^{いしづちさん}にも夫と娘で登山に行っている。この時、すでに夫は体力的に娘に抜かされたようだ。

数年続いた夫の黄金山登山に私は仕事の忙しさに追われていたことで、一緒に行くことは叶わずにいた。もっとも私としては、山は登るより眺めて絵に描きたいのであった。





すずき もも

イラストレーター・絵本作家／スローフードさっぽろ会員

東京生まれ、北海道夕張育ち。広告や雑誌、カレンダーなどのイラストを描くほか、イラストで綴る町案内の本や絵本などを執筆。ほか、「スローフードさっぽろ」を2016年に立ち上げ、食を中心に環境や暮らしの大事に取り組んでいる。著書に絵本「はるとなつ はたけのごちそうなーんだ?」（アリス館）「おいしい大地、北海道」（イースト・プレス）がある。近著に絵本「はたけのごちそうなーんだ? くだもの」（アリス館）がある。モットーは4つのS。「Simple, Slow, Small, Smile: ささやかに、ゆっくり、ほどほどに、にこにこ」。